

(総務委員会)

観光による地域の活性化を目指して、国、県、市および関係団体などとの連携を図り、下記について実施したい。

1. 協会事業全体に対する総合的な企画及び調整。
2. 国、県、市及び関係団体の事業への参加を通じて下呂温泉の情報発信と収集。
3. 広域観光の推進を目指して周辺地域、関係機関との連携。
4. 濃飛横断自動車道及び道路や地域の基盤整備促進についての諸活動。
5. リニア中央新幹線「東濃駅」からのアクセス整備の活動。
6. 「M I C E」(Meeting、Incentive、Convention、Event/Exhibition)による誘客促進。
7. 下呂温泉のランドマークとなる外湯施設などの建設推進。
8. 飛騨・美濃じまんキャンペーン、ウェルネスツーリズムなどとの連携。
9. インバウンド推進を図る岐阜県の空港整備やアクセス充実のための諸活動。
10. 温泉を活かした健康保養地づくりの促進。
11. 下呂交流会館の活用。
12. 高山本線強化促進のための諸活動。
13. 下呂市並びに下呂商工会、下呂温泉旅館組合等関係団体との連携の強化。
14. 県及び近隣観光協会及び商工会、市内観光協会連絡協議会など関係団体との連携。
15. 日本三名泉有馬・草津や韓国儒城との交流、情報交換。
16. 下呂温泉まつりの共催。
17. 市、市議会および行政機関、教育機関との意見交換会などの開催。
18. 芸妓芸能伝統文化の育成。
19. 防犯活動の推進。
20. 観光関係功労者、優良従業員の表彰。
21. 一般社団法人への移行。
22. 会費、負担金の検討。
23. 下呂市観光協会連絡協議会の事業。
24. 下呂温泉観光協会だよりの発行。
25. 多様化するニーズへの迅速な対応と方針の策定及びホスピタリティの推進

(誘致宣伝委員会)

未曾有の大震災が発生した。原発事故や首都圏をはじめとする計画停電など、日本経済の見通しが定まらない状態でもあります。

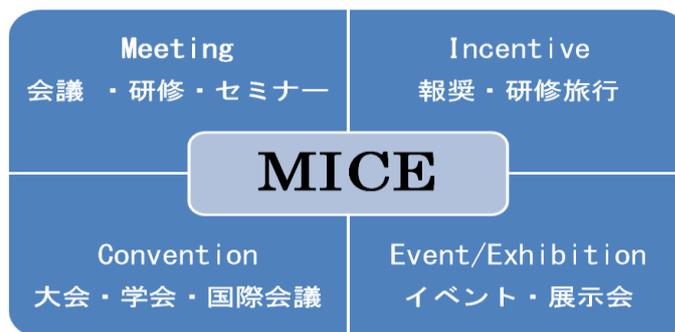
また、昨年度まで順調に推移しておりましたインバウンド事業についても、原発事故により極めて厳しい状態になると予想されています。

こうした中ではありますが、大手旅行者による販売促進キャンペーン「日本の旬」が実施されます。

また、JR東海の「Shupo」においては更なるステージアップされたキャンペーンになるとも聞いております。県観光連盟においては、具体的な旅行商品の造成とその販売に力を注ぐように事業の転換をされます。この様な観光客誘致へのポジティブ要因もあり、岐阜県並びに下呂市や各種団体をはじめ、旅行者との連携をはかりながら事業展開を致します。

尚、事業展開については、今後の状況を見極めながら、観光客誘致に努力して行きたい。

1. インターネットによる情報発信事業
2. 宣伝用印刷物・販促物の作成とマスメディアに対する広告出稿
3. JR東海はじめ旅行者との連携
4. 大都市圏での観光展等の開催
5. 下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合などとの連携
6. ドライブ旅行の誘致対策
7. インバウンド事業の促進
8. MICE(マイス)による観光客誘致の促進(交流会館、コンベンションビューローとの連携)
9. 下呂温泉ふるさと観光大使に掛かる事業
10. 着地型旅行商品の積極的な取り組み



企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の頭文字をとった造語である。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。

(まちづくり委員会)

新しい時代の温泉地として、街並整備、名所作りは重要な要素の一つです。美しい街は訪れたお客様への最大の「おもてなし」と考えます。

行政、各種団体の連携を図り下記の事業を実施し、温泉地としての「魅力あるまちづくり」について推進していきたい。

1. 花木の植栽と定期的な管理
2. 飛騨川クリーン大作戦の実施
3. 四季を通しての名所作りの推進
4. 飛騨街道の再生事業への協力
5. 交流研修委員会との協力（電線の地中化等）

(交流研修委員会)

お越し頂いたお客様のご満足度を上げていくことが重要であると考えます。そこで、魅力ある温泉地づくりの為に研修事業である「車上セミナー」を実施したい。

また、市内の観光資源(合掌村・厳立峡)をはじめ周辺観光地などお客様への細やかなご案内ができるよう、協会員(接客担当者)らなどを対象とした視察研修も実施したい。この視察事業については電線の地中化などにも絡めて「まちづくり委員会」とともに連携して実施したい。

また、大震災を契機に国際交流の重要性が再認識されたと考えます。韓国儒城温泉との国際交流事業(平成9年2月12日締結)についても先方への表敬訪問もしくは当地への招請など、社会情勢を鑑みながら実施したい。

1. 協会員の研修及び高山本線強化促進を目的に「車上セミナー」を開催
2. 市内外の観光資源の視察などの「おもてなし講習会」の開催
3. 韓国儒城温泉との国際交流事業の実施

※ 例年実施の車上セミナーは、皆様方のご参加による永年の積み重ねが、JR東海による商品造成や主要駅や新幹線車両内でのポスター掲示など観光客の誘致に繋がっております。大阪からの直通「ワイドビューひだ」の増両・増発などはじめとする高山線強化促進への期待が膨らみます。

(おもてなし委員会)

ホスピタリティ都市宣言をしている街として、下呂温泉に訪れる皆様を心からの「おもてなしの心」でお迎えをしたい。

お客様目線にたった各イベントを通して大きく誘客に結びつけ、訪れて良かったと心から思われる下呂温泉にし、再度訪れたい地として飛躍を図りたい。

その為に下記事業を展開する。

1. 下呂温泉いでゆ夜市の開催  
(7月16・23・30日・8月6日・13・20・27日) 各土曜日 7回開催予定
2. 歌塚供養祭の開催
3. 歌塚歌謡祭の開催
4. キャンドルイルミネーションの実施  
12月24日(土) 開催予定
5. JR東海「さわやかウォーキング」、各種アウトドアイベントの協力
6. 温泉街の各種イベントに協力

(青年部)

—事業方針—

2011年3月11日、この日未曾有の災害といわれる東日本大震災が起き、国内の経済、流通、生活活動などが危機に陥っています。中でも観光産業は特に影響著しい分野だと思われます。このような時でも私達青年部は時代認識を持ち、みんなで協力していくことでどんな難局も乗り越えていけると思います。青年部間の情報交換、情報収集を通して個々の経営力アップ、そして下呂温泉の発展に、次代を担う責任世代として目的を持ち事業展開をしていきたいと思います。自らが源泉になるような、参加・協力をお願いいたします。

(事業計画)

1. (社) 下呂温泉観光協会の諸事業への協力
2. 下呂温泉への誘客キャラバンへの協力
3. 下呂温泉の街並み整備に関する調査研究  
・花木の植栽や消毒、肥料やり
4. 諸団体(各青年部)との連携  
・「花火ミュージカル冬公演」への参画
5. 部員拡大